



涌谷町

防災マップ

災害に備えるために



町民の皆様へ

『涌谷町防災マップ』の発行にあたって

平成23年3月の東日本大震災をはじめとする地震だけでなく、予測困難な集中豪雨などの異常気象により土砂災害等が全国各地で発生しております。

そこで、災害危険区域や避難所等を町民の皆様にも周知することにより、災害に対する危険性を再認識していただくとともに、自助、共助を基本とした災害予防活動を一層推進するため、今般「涌谷町防災マップ」を作成しました。

この冊子をもとに、万が一の災害に備え、ご自宅周辺の危険箇所の確認、災害時の連絡方法や避難所・避難経路の確認など、いざというときに冷静な行動が取れるよう日頃から十分な備えとして活用していただきたいと存じます。この冊子が、町民の皆様の防災・減災の一助になれば幸いです。

涌谷町長 大橋 信夫

索引

町民のみなさまへ・索引	1	涌谷町 全図	13・14
特別警報をご存知ですか？	2	詳細図No. 1	15・16
風水害対策について	3	詳細図No. 2	17・18
土砂災害情報について	4	詳細図No. 3	19・20
洪水災害情報について	5	詳細図No. 4	21・22
ご家庭のTVで河川の状況を確認できます	6	詳細図No. 5	23・24
地震対策について	7	詳細図No. 6	25・26
火災対策について	8	詳細図No. 7	27・28
非常時持出品の準備&チェック	9	詳細図No. 8	29・30
わが家の「防災・緊急情報」メモ	10	詳細図No. 9	31・32
避難とは？ 学校・行政機関・ライフライン 連絡先	11	詳細図No. 10	33・34
避難所・避難場所 一覧	12	災害情報の入手方法	巻末

発行：涌谷町 [問い合わせ：総務課防災交通班 0229-43-2111(代)]

制作・著作：株式会社ゼンリン仙台営業所 (問い合わせ：022-261-5917)

作成：平成30年3月

詳細図：「この地図は、涌谷町長の承認を得て同町発行の1/2,500都市計画図、1/10,000地形図を使用し、調整したものである。(承認番号)涌総第705号」

「この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県発行の1/5,000森林基本図を使用し、調整したものである。(承認番号)林振第1007号」

特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする新しい警報です。普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の”数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

地震警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
地震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)

特別警報が 発表されたら

- ・尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



- ・「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
- ・これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
- ・普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載

「特別警報」については、気象庁HPに詳細が掲載されていますので、ご確認ください。

気象庁

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

電話：03-3212-8341 FAX：03-6689-2917 (耳の不自由な方向け)

気象庁ホームページ
<http://www.jma.go.jp>

特別警報について
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/>

風水害対策について

大雨や強風は、わたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
 ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。

まずは、
 確実な情報が大事
 その次に迅速な対応



大雨注意報・ 警報の 発表基準

大雨注意報

大雨によって災害が起こる
 おそれがあると予測される場合。

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こる
 おそれがあると予測される場合。

記録的短時間大雨情報 1時間に雨量100mm

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。

注意報・警報の発令基準は、気象庁HP (<http://www.jma.go.jp>) をご覧ください。

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づら。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～25未満	25以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
 台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
		猛烈な	54m/s以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して多量の雨が降ることで、「ゲリラ豪雨」とも言われています。
 発生の予測は困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、
 気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、
 注意して
 おきましょう！



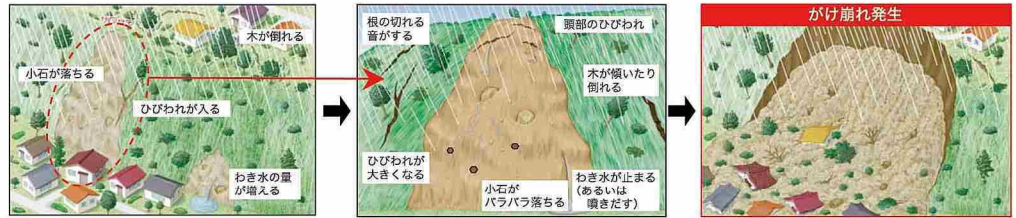
土砂災害情報について

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日頃から危険箇所、避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

土砂災害の種類

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



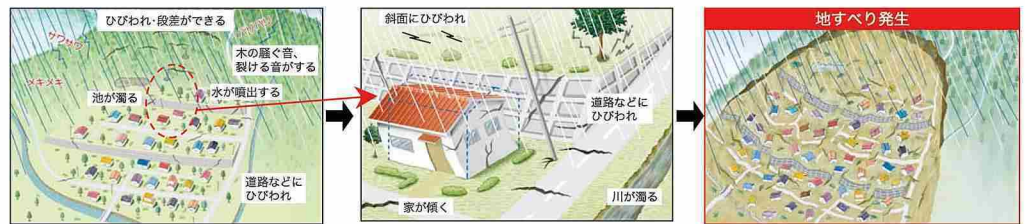
土石流

山腹・谷底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土壌量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるといえるものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報は、大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、市町村長の避難勧告等の判断を支援するよう、また、住民の自主避難の参考となるよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。

土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、特に早めの避難が重要です。涌谷町からの避難に関する情報に留意するとともに、土砂災害警戒情報を自主避難の参考にしてください。土砂災害警戒情報が発表されたときは、気象庁のホームページの土砂災害警戒判定メッシュ情報で土砂災害発生の危険度が高まっている領域をご確認下さい。

危険箇所内の重要性の高い箇所について

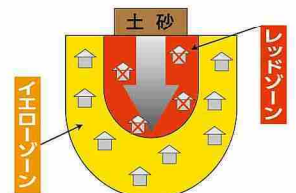
土砂災害防止法に基づき、宮城県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定が行われています。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域



洪水災害情報について

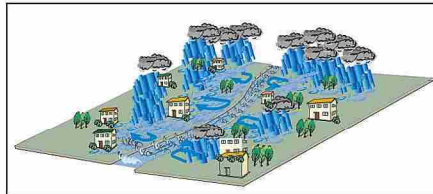
H27年の水防法改正に基づき、江合川、旧北上川、鳴瀬川などで浸水域の公表がありました。以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 氾濫の種類

- 雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、排水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

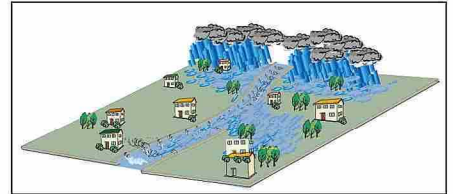
内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



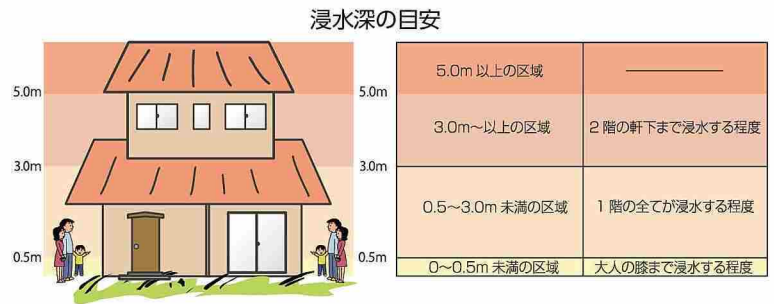
外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。



2 説明(外水氾濫)

- このマップで使用しているハザード情報は、江合川、旧北上川、鳴瀬川などが大雨により氾濫した場合、洪水が想定される区域とその浸水の深さを示したものです。大雨による浸水の状況は1000年に1度の確率で発生する大雨をもとにシミュレーションしています。
- 雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。
- 川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害(床・床下浸水など)が起こる場合があります。十分注意しましょう。



3 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報(気象庁)

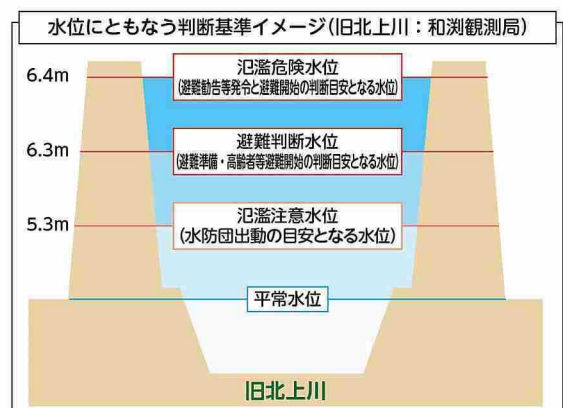
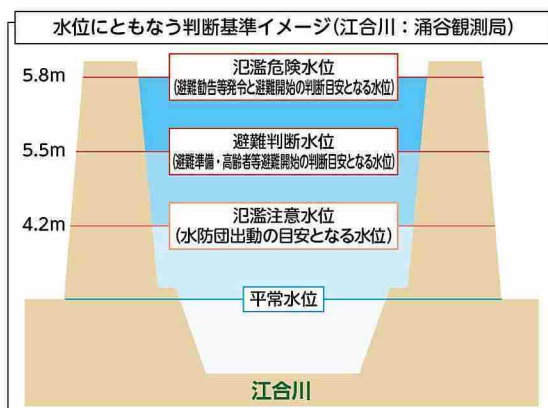
- 洪水によって災害がおこる恐れがある場合、その旨を注意して行う予報。

洪水警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害がおこる恐れがある場合、その旨を警告して行う予報。

指定河川洪水予報など

- 江合川、旧北上川については、仙台管区気象台の予測する降水量をもとに、河川を管理する北上川下流河川事務所が河川水位の危険度を予測し、共同発表します。



※現況水位は、「宮城県河川流域情報システム」で確認できます。 <http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/>

ご家庭のTVで河川の状況を確認できます

操作手順



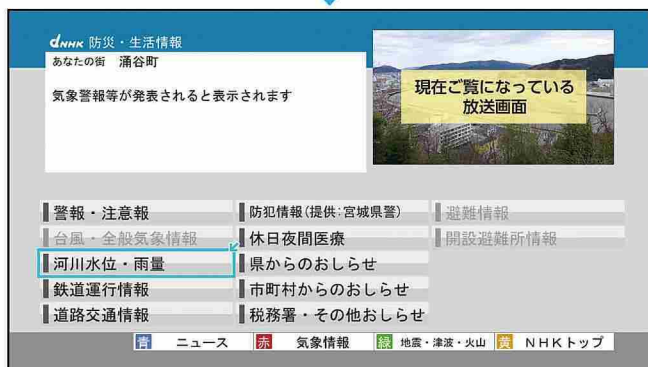
1 チャンネルをNHK総合にあわせ、「dボタン」を押す。

Dボタン

決定ボタン



2 データ放送画面の「防災・防犯・生活情報」を選びリモコンの決定ボタンを押します。



3 データ放送画面の「河川水位・雨量」を選びリモコンの決定ボタンを押します。

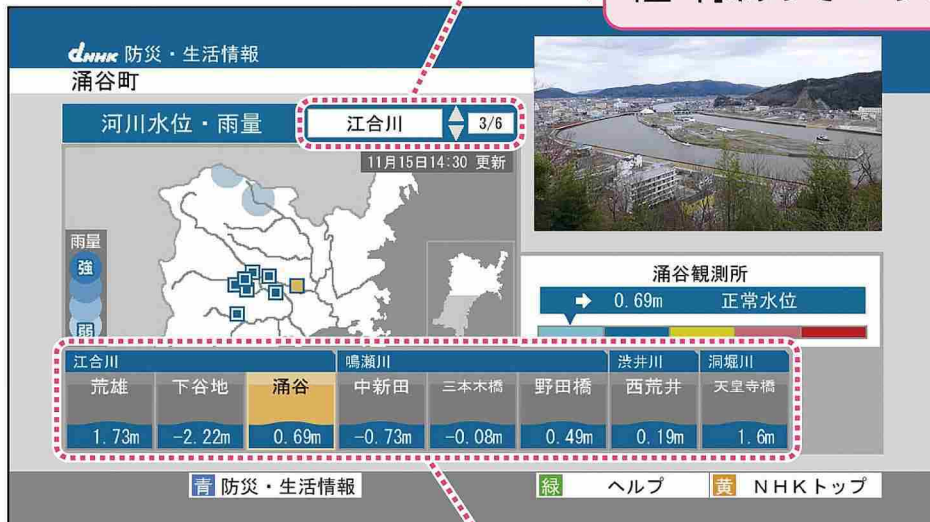


4 河川の水位・雨量が表示されます。

河川水位・雨量の画面

メイン画面

他の河川を見る場合は、リモコンの「上・下」ボタンでページを切り替え



- 水位観測所の切り替えは、リモコンの「左・右」ボタンで切り替えられます。
- 選択した観測所は、名称が黒色に変化し、背景が橙色に変化します。
- 観測所の水位表示している青色は波を表しており、水位レベルに応じて変化します。



地震対策について 地震発生!そんなときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

2~5分

5~10分

10分~半日

半日~3日

とにかく自分の身を守ろう!

●地震だ!まず身の安全

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、まず身を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。



しっかり火の始末で、火災防止!

●大揺れがおさまった

台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉めましょう。



わが家の安全の確認、確保!

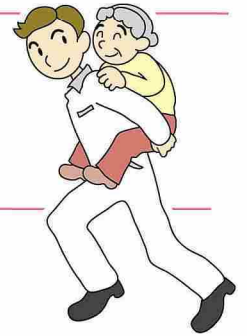
●火の始末のあと

家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報を入手しましょう。また、避難可能な出口も確保しましょう。

隣近所の安否確認、助け合い!

●外に出たあと

家の家具の下敷きになった人の救出や、消火活動を隣近所で協力して行いましょう。



2、3日は自分でしのぐ!

●避難後、数日間

地震発生後の数日間は、水、食料に加え、電気などの供給が途絶えます。この間、日頃から、生活必需品(非常用品)を準備し、自分でしのげるようにしておきましょう。

屋内にいた場合

家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 揺れがおさまったら火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要支援者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

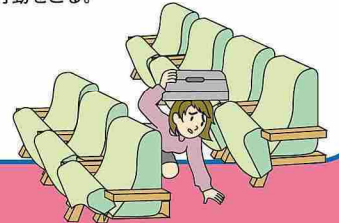
デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。



劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。あわてずに冷静な行動をとる。



集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

屋外にいた場合

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などの安全な場所に避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

海岸付近

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



火災対策 火災発生!そんなときどうする

初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

1

2

早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近のものを活用する。



火元別初期消火のコツ

油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

石油ストーブ

真上から一気に水をかけて消火(斜めにかけてと石油が飛び散って危険)。石油が流れてひろがっていくようなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火を。

衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。

風呂場

風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。

カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

3

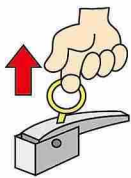
早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを開めて空気を絶つ。



消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合



安全ピンに指をかけ上に引き抜く。



ホースをはずして火元に向ける。



レバーを強く握って噴射する。

消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。火災にはまともに正面から立ち向かわないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。

火災予防が一番!!

火災警報器の交換はお済みですか?

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることもあるため、とても危険です。設置から10年を目安に交換しましょう。設置時期を調べるには、火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」または本体に記載された「製造年」を確認してください。

火災警報器の設置場所

- 寝 室…すべての寝室(子ども部屋や高齢者の部屋など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階 段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台 所…台所への設置も必要です。



警報器



住宅内取付位置図

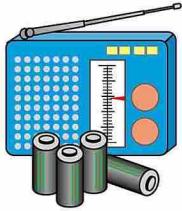
非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

携帯ラジオ



- ラジオ
- 電池(多めに用意)

救急医療品



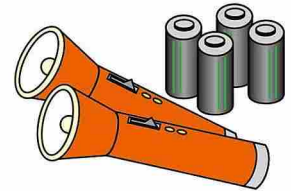
- 常備薬
- 絆創膏
- 傷薬
- 包帯
- 風邪薬
- 胃腸薬
- 鎮痛剤

貴重品



- 現金
- 預貯金通帳
- 印鑑
- 免許証
- 健康保険証
- 権利証書

懐中電灯



- 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

非常食品等

- 非常用食品
- ミネラルウォーター
- 離乳食
- 粉ミルク



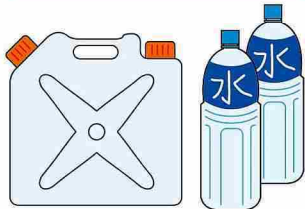
その他

- 衣類(下着・上着など)
- 生理用品
- 缶切り
- 紙皿
- 水筒
- ウェットティッシュ
- ヘルメット
- 防災マップ(本書)
- タオル
- 紙おむつ
- 栓抜き
- 紙コップ
- カッパ
- ライター
- ラップフィルム
(止血や食器にかぶせて使う)

非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(一週間)を生活できるようにチェック✓しましょう。

飲料水



- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)又は貯水した防災タンクなど

非常食品



- お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

その他



- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など

非常時持出品は定期的に点検を!

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持出用品の不備を定期的に点検しましょう。

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具(マジックなど)スコップなど。



震災時に役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、ボールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持出品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限は早めにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

わが家の「防災・緊急情報」メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたい、わが家の情報です。
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・町に情報を提供します。

氏名		電話	
住所			

避難場所	
家族が離ればなれになった時の避難場所	

家族構成 連絡先	氏名	生年月日	電話(携帯・会社・学校)	住所	メモ	

家族の 緊急情報・ 救急メモ	氏名	血液型	持病・アレルギー	常備薬	かかりつけ医療機関	
【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報(介護情報・救急隊員への伝言など)をお書きください。						

緊急時 連絡先	氏名	間柄	電話	住所	メモ	

災害用伝言ダイヤルの使い方

災害用伝言ダイヤルとは？

NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル(171)」を設置します。NTT「災害用伝言板(web171)」との連携により、伝言内容を相互に確認が可能。

伝言の登録	171-1-XXXX-XX-XXXX (被災地の方の電話番号)	伝言保存期間	運用期間終了まで
伝言の再生	171-2-XXXX-XX-XXXX (被災地の方の電話番号)	伝言蓄積数	1電話番号あたり1~20件 (提供時にお知らせいたします)
伝言内容	1伝言あたり30秒以内	利用可能電話	固定電話、IP電話、 携帯電話、PHS

避難とは？避難所・避難場所とは？

避難とは？

「災害から命を守るための行動」です。避難行動には、指定避難所やその他の安全な場所へ移動する「立ち退き避難」と建物内にとどまって安全を確保する「屋内安全確保」があります。命の危険がある災害では、立ち退き避難が基本ですが、屋外での移動に危険が伴ったり、中小河川の氾濫で浸水の深さが床下以下だったりする場合には、屋内安全確保も選択肢になります。

避難所

災害による家屋の倒壊などで、居住場所を確保できなかった人たちの収容保護を目的として、物資の運搬・集積・炊事・宿泊などの利便性を考慮したうえで、学校・公民館・公共建築物などを指定しています。

避難場所

災害発生後の一時的な避難場所として、学校のグラウンド・公園・公共施設などを指定しています。

避難が必要になったときにはまず「避難場所」へ、その後は「避難所」へと状況に応じて速やかに行動できるよう心がけましょう。



学校・行政機関・ライフライン 連絡先

学校関係機関

名 称	電 話 番 号	住 所
涌谷第一小学校	0229-42-3005	字立町15
月将館小学校	0229-42-3030	涌谷字小人町1
籠岳白山小学校	0229-45-2117	太田字台78-2
涌谷中学校	0229-42-2049	涌谷字内林1-10
さくらんぼこども園	0229-43-6681	上郡字永根1-2
涌谷幼稚園	0229-43-3343	字蔵人沖名242
涌谷南幼稚園	0229-43-2260	字下道108-1
ののだけ幼稚園	0229-45-2118	猪岡短台字愛宕11-3
涌谷保育園	0229-42-2333	字立町18-8
修紅幼稚舎	0229-43-5155	字追廻町17
涌谷高等学校	0229-42-3331	涌谷字八方谷三1

行政関係機関

名 称	電 話 番 号	住 所
涌谷町役場	0229-43-2111	字新町裏153-2
涌谷町町民医療福祉センター	0229-43-5111	涌谷字中江南278
大崎広域行政事務組合消防本部	0229-22-2351	大崎市古川北町3-2-20
遠田消防署	0229-43-2351	字関谷沖名303-1
遠田警察署	0229-33-2321	美里町藤ヶ崎1-81
涌谷幹部交番	0229-43-3125	字柳町17-10
猪岡駐在所	0229-45-2110	猪岡短台字川畑二25-2
小里駐在所	0229-45-3115	小里字鹿の子10-6

ライフライン関係機関

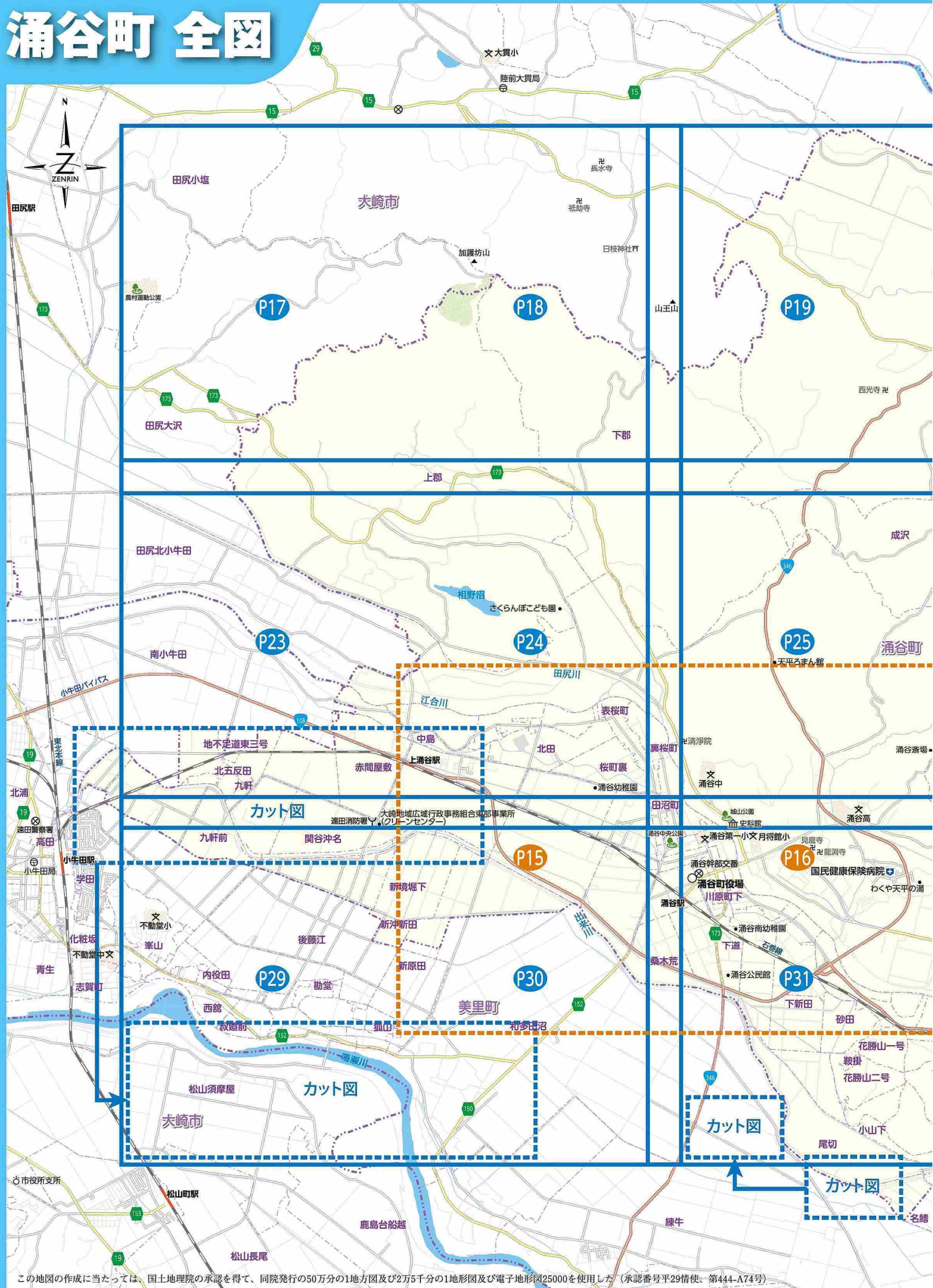
名 称	電 話 番 号	住 所
東北電力(株)古川営業所	停電・緊急時のお問い合わせ 0120-175-366 その他のお問い合わせ 0120-175-460	大崎市古川中里1丁目4-11
NTT東日本(株)	113(局番無し) 0120-444-113(携帯電話・PHS・NTT東日本以外の固定電話から)	—————
涌谷町上下水道課	0229-43-2131	字新町裏153-2

避難所・避難場所 一覧

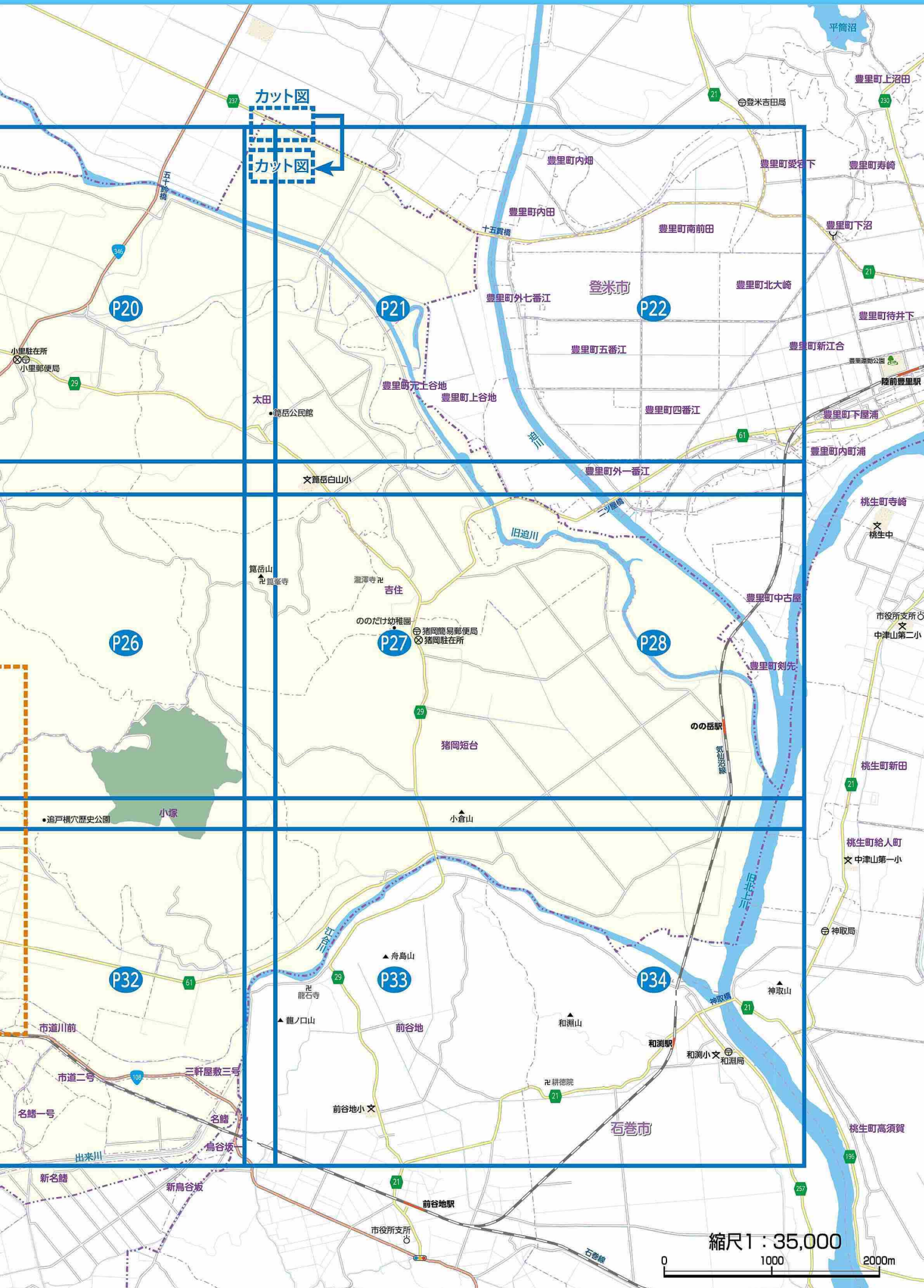
名 称

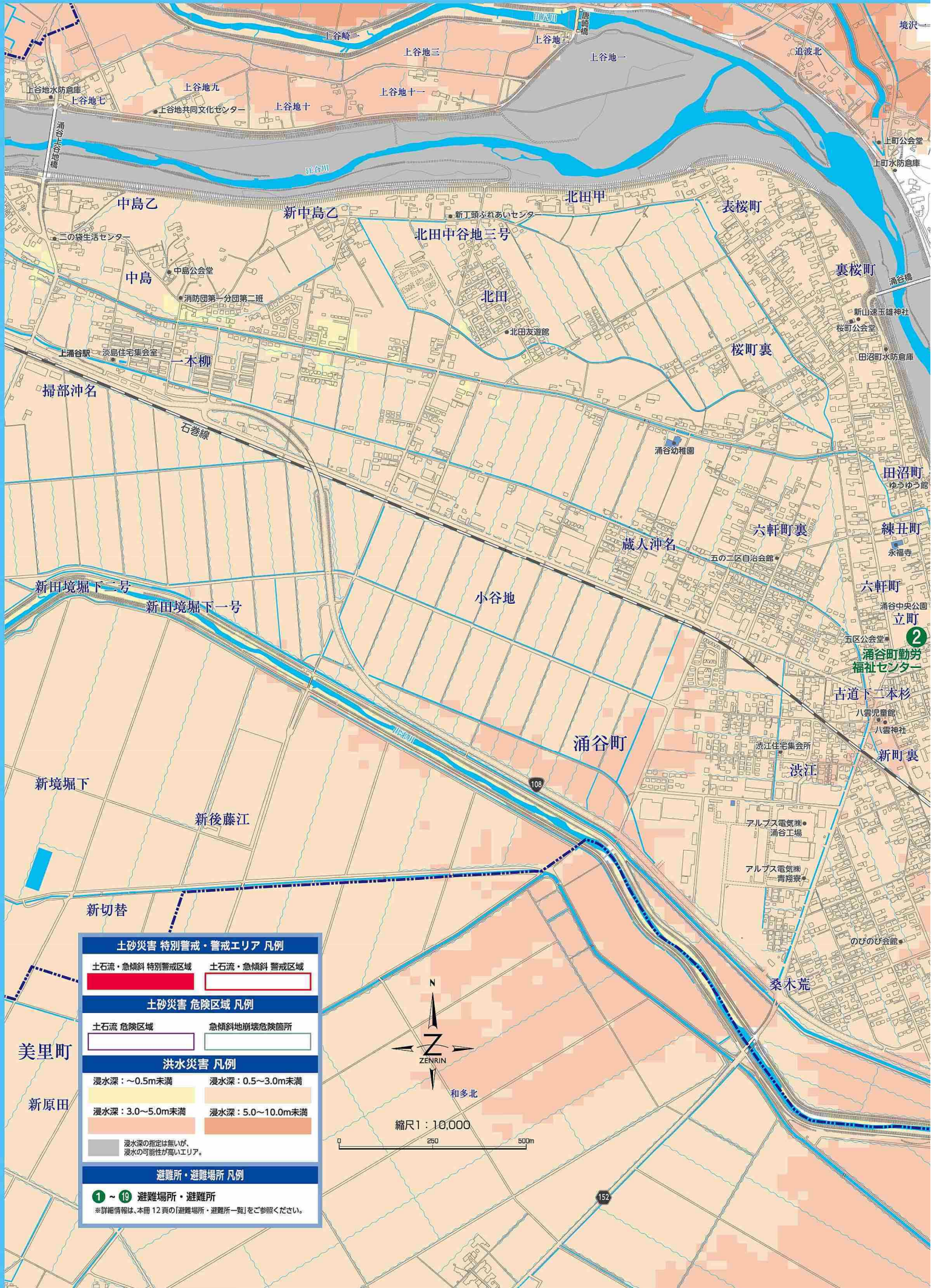
No.	避難所施設名称	所在地	収容地区名	掲載頁	避難場所	災害ごとの適否	
						地震	水害
1	三十軒・九軒 多目的集会所	字三十軒屋敷9	1区	P29	○	○	—
2	涌谷町 勤労福祉センター	字立町4-1	2-1,2-3区	P15/ P30/ P31	○	○	—
3	涌谷中学校	涌谷字内林1-10	(地震)2-2,3,4,5-2,上町区 (風水害)2-3,3,5-1,5-2,日向,城山, 上町区	P16/ P25	○	○	○
4	涌谷第一小学校	字立町15	(地震)5-1,6,9-3,八雲区 (風水害)4,6,7,八雲区	P16/ P31	○	○	○
5	月将館小学校	涌谷字小人町1	7,8,9-1,城山区	P16/ P31	○	○	—
6	涌谷公民館	字下道69-1	9-2,10区	P16/ P31	○	○	—
7	B & G海洋センター	字下道69-8		P16/ P31	○	○	—
8	金山多目的集会所	小塚字石坂山 48-5	下小塚区	P32/ P33	○	○	—
9	天平ろまん館	涌谷字黄金山1-3	黄金区	P16/ P25	○	○	—
10	涌谷高校	涌谷字八方谷三1	(地震)上小塚,日向区 (風水害)8,9-1,9-2,9-3,10, 下小塚,上小塚,黄金区	P16/ P25/ P31	○	○	○
11	石坂集落センター	字花勝山石坂道 東一号18	(地震)11区 (風水害)11区	P31	○	○	○
12	さくらんぼこども園	上郡字永根1-2	(地震)上谷地,下郡,上郡1,上郡2区 (風水害)2-1,2-2,上谷地,下郡,上郡1, 上郡2区	P24	○	○	○
13	篁岳白山小学校	太田字台78-2	(地震)太田,篁岳,吉住区 (風水害)長根,小里,岸ヶ森,脇,成沢, 太田,篁岳,吉住,猪岡,短台,大谷地区	P21/ P27	○	○	○
14	篁岳公民館	太田字北太田 190-1	岸ヶ森区	P20/ P21	○	○	—
15	篁岳地区町民体育館	太田字北太田 190-1		P20/ P21	○	○	—
16	旧篁岳小学校	吉住字西山9	猪岡,短台,大谷地区	P27	○	○	—
17	旧小里小学校	小里字八幡15-2	長根,小里,脇,成沢区	P20	○	○	—
18	大崎地域広域行政事務 組合東部事業所 (クリーンセンター)	字関谷沖名 193-1	1区	P29/ P30	○	—	○
19	わくや天平の湯	涌谷字中江南 222	(地震)下町区 (風水害)下町区	P16/ P31	○	○	○

涌谷町 全図



この地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号29情使-第444-A74号)

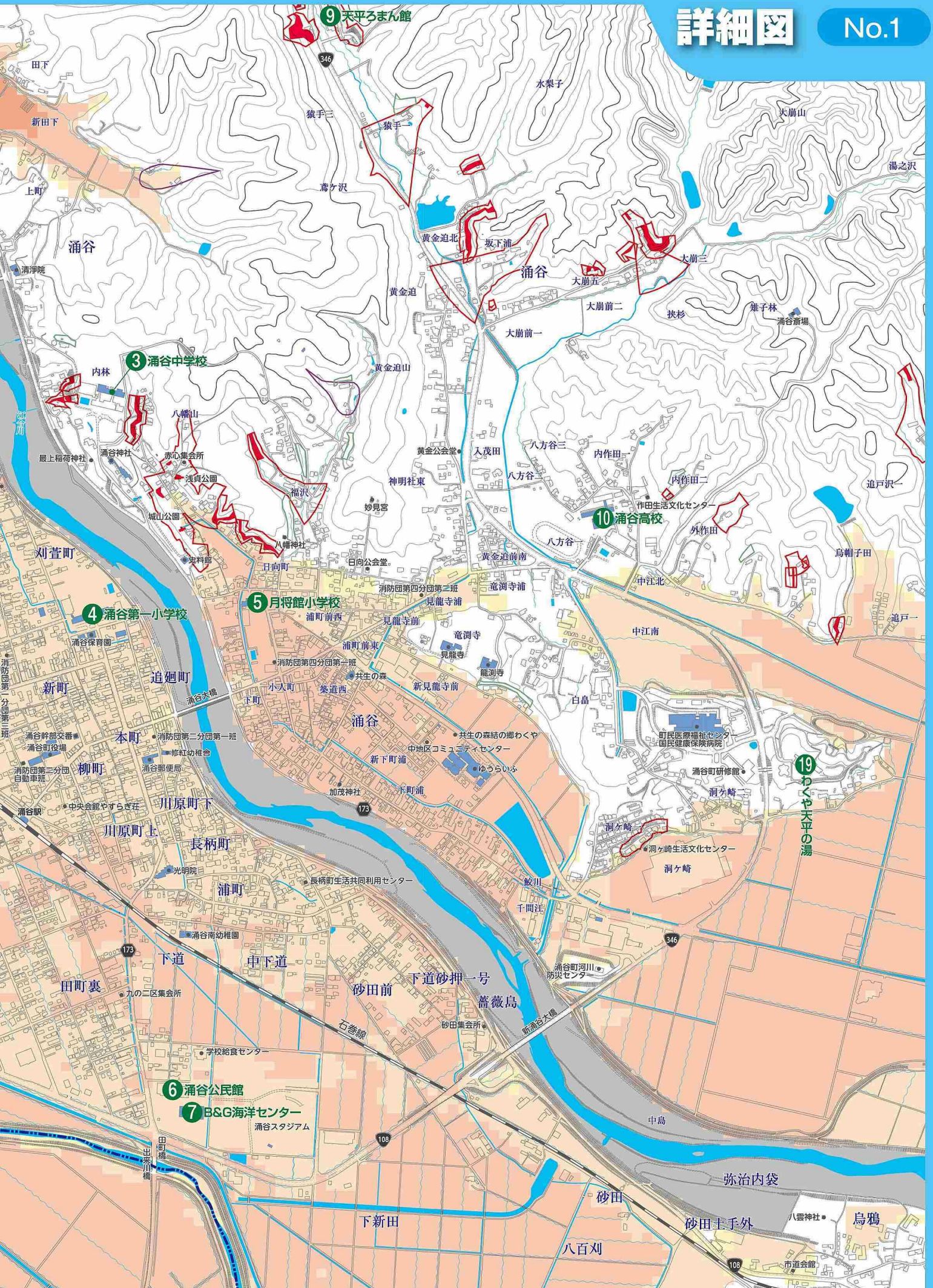


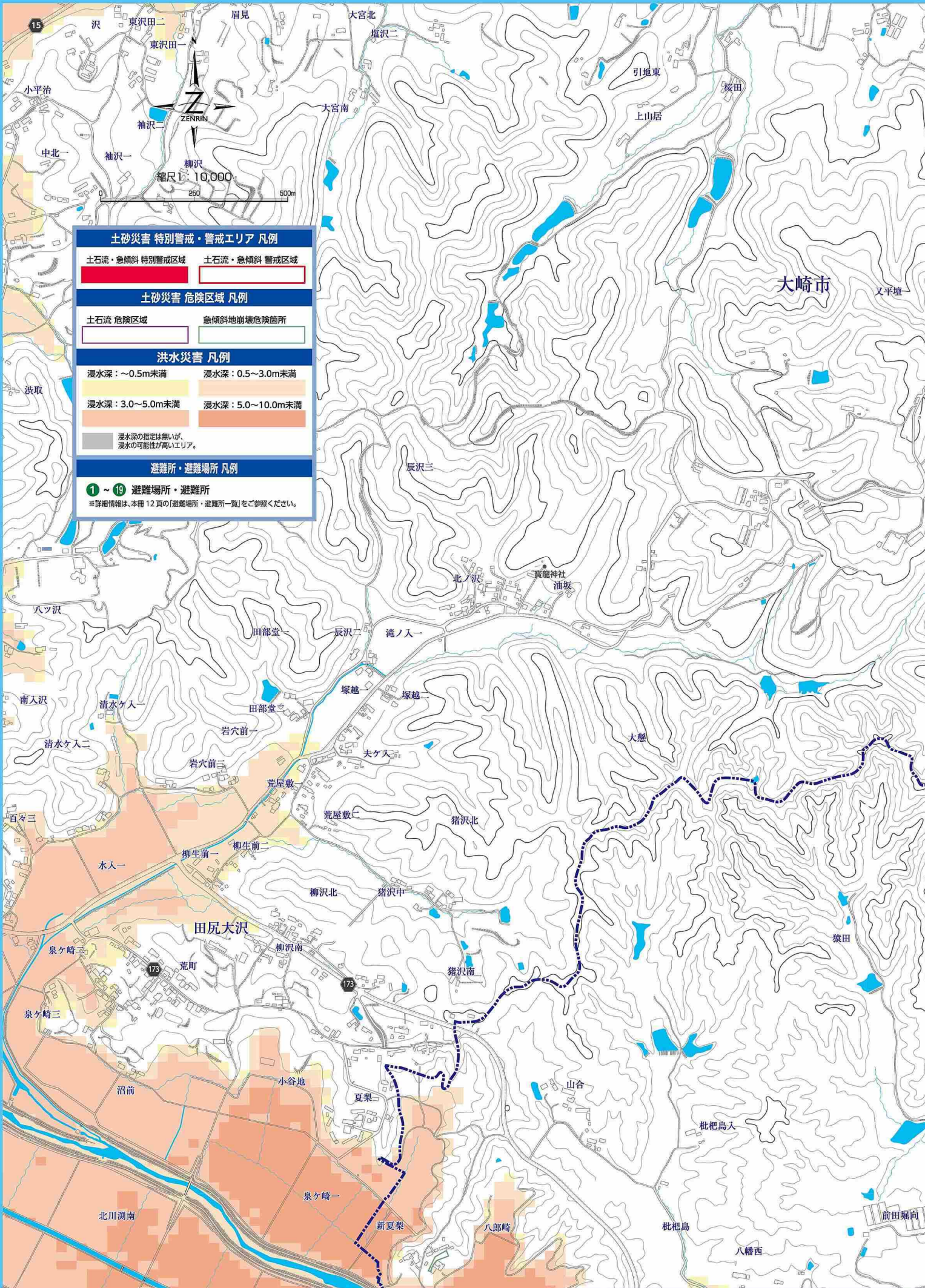


土砂災害 特別警戒・警戒エリア 凡例	
土石流・急傾斜 特別警戒区域	土石流・急傾斜 警戒区域
土砂災害 危険区域 凡例	
土石流 危険区域	急傾斜地崩壊危険箇所
洪水災害 凡例	
浸水深：～0.5m未満	浸水深：0.5～3.0m未満
浸水深：3.0～5.0m未満	浸水深：5.0～10.0m未満
浸水深の指定は無いが、浸水の可能性が高いエリア。	
避難所・避難場所 凡例	
①～⑯ 避難場所・避難所	
※詳細情報は、本冊12頁の「避難場所・避難所一覧」をご参照ください。	



縮尺1：10,000
0 250 500m





土砂災害 特別警戒・警戒エリア 凡例

土石流・急傾斜 特別警戒区域	土石流・急傾斜 警戒区域
----------------	--------------

土砂災害 危険区域 凡例

土石流 危険区域	急傾斜地崩壊危険箇所
----------	------------

洪水災害 凡例

浸水深：～0.5m未満	浸水深：0.5～3.0m未満
浸水深：3.0～5.0m未満	浸水深：5.0～10.0m未満

浸水深の指定は無いが、
浸水の可能性が高いエリア。

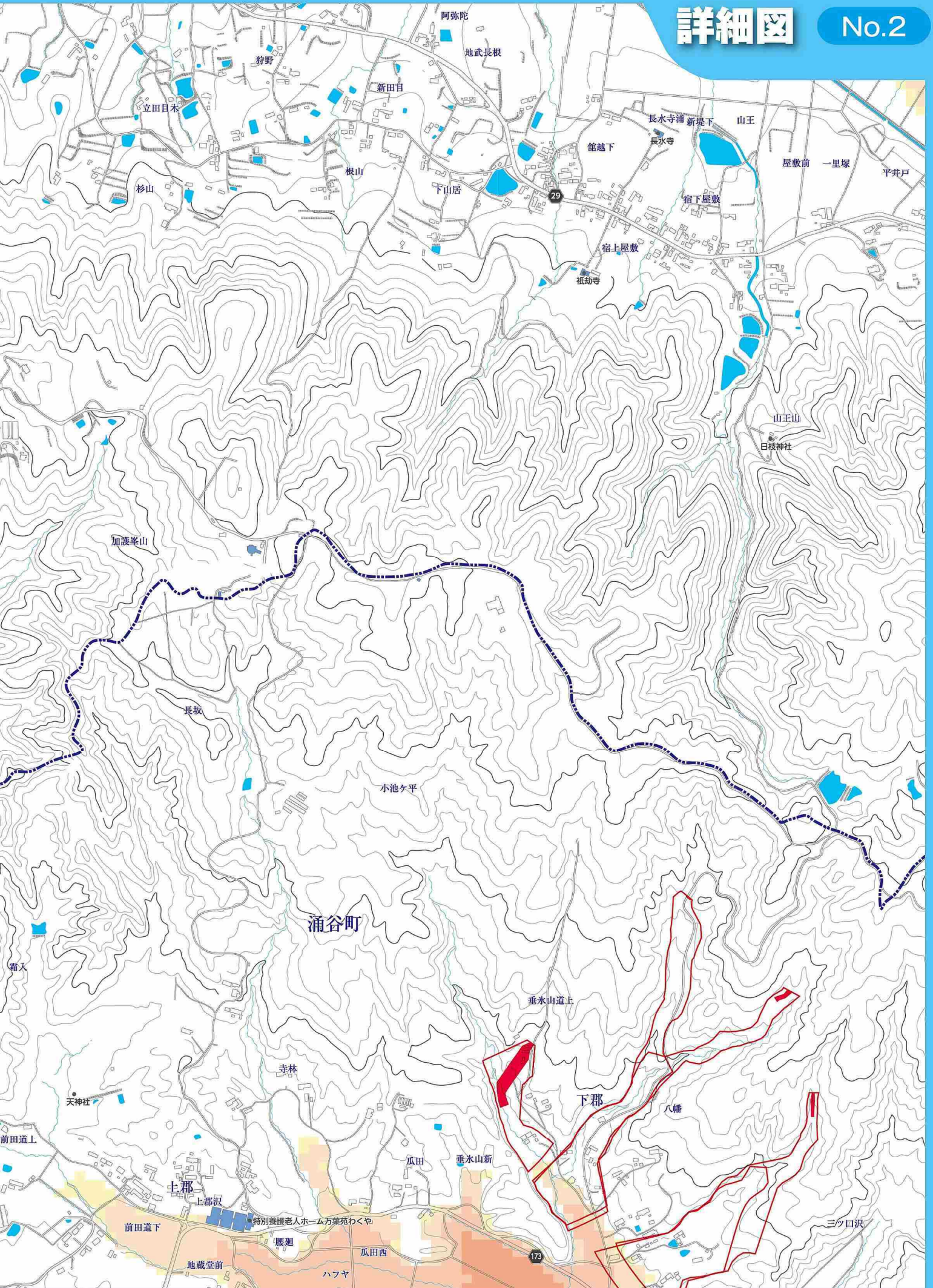
避難所・避難場所 凡例

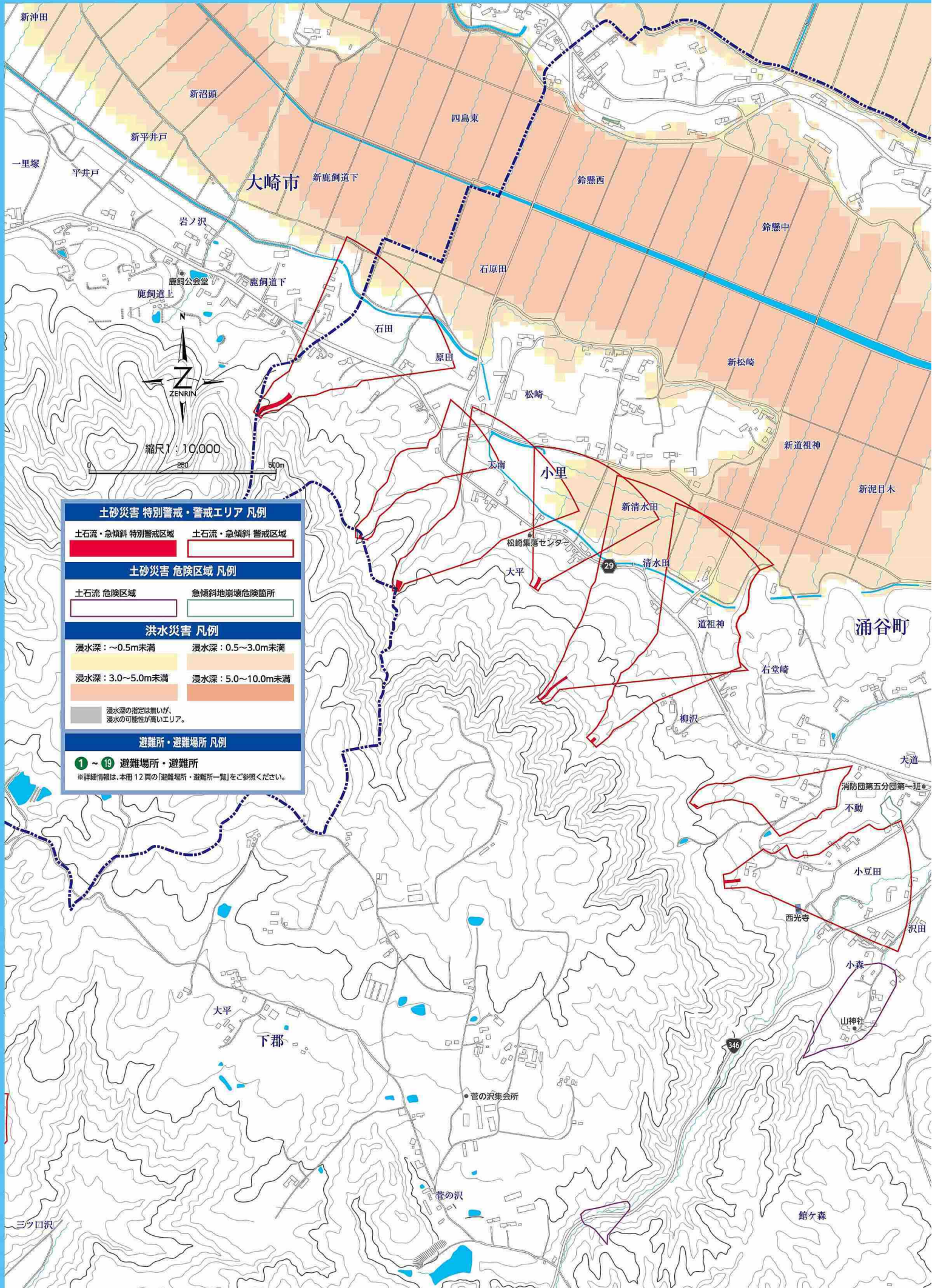
①～⑩ 避難場所・避難所

※詳細情報は、本冊 12 頁の「避難場所・避難所一覧」をご参照ください。

大崎市

田尻大沢





土砂災害 特別警戒・警戒エリア 凡例

土石流・急傾斜 特別警戒区域	土石流・急傾斜 警戒区域
----------------	--------------

土砂災害 危険区域 凡例

土石流 危険区域	急傾斜地崩壊危険箇所
----------	------------

洪水災害 凡例

浸水深：～0.5m未満	浸水深：0.5～3.0m未満
浸水深：3.0～5.0m未満	浸水深：5.0～10.0m未満

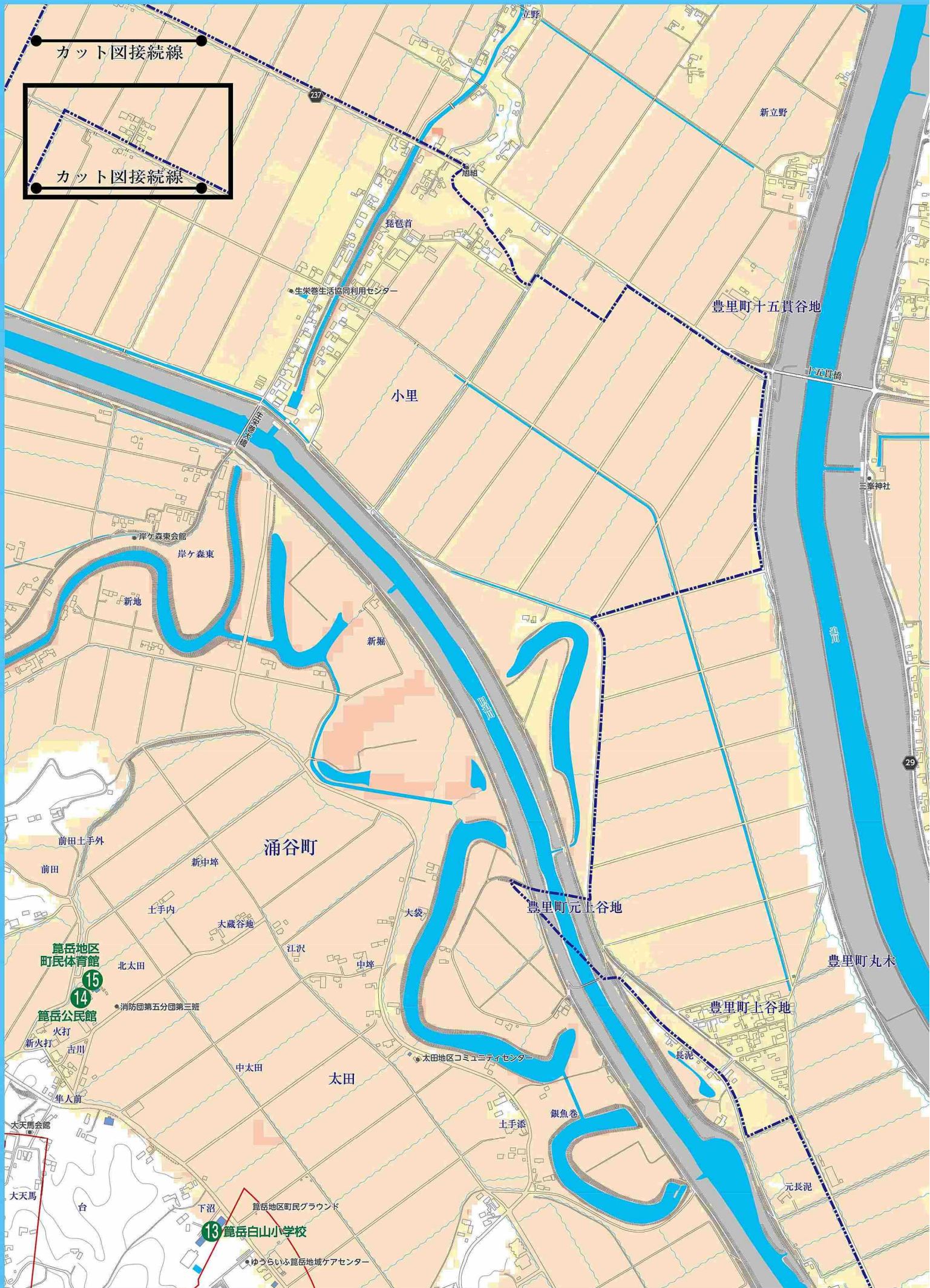
浸水深の指定は無いが、
浸水の可能性が高いエリア。

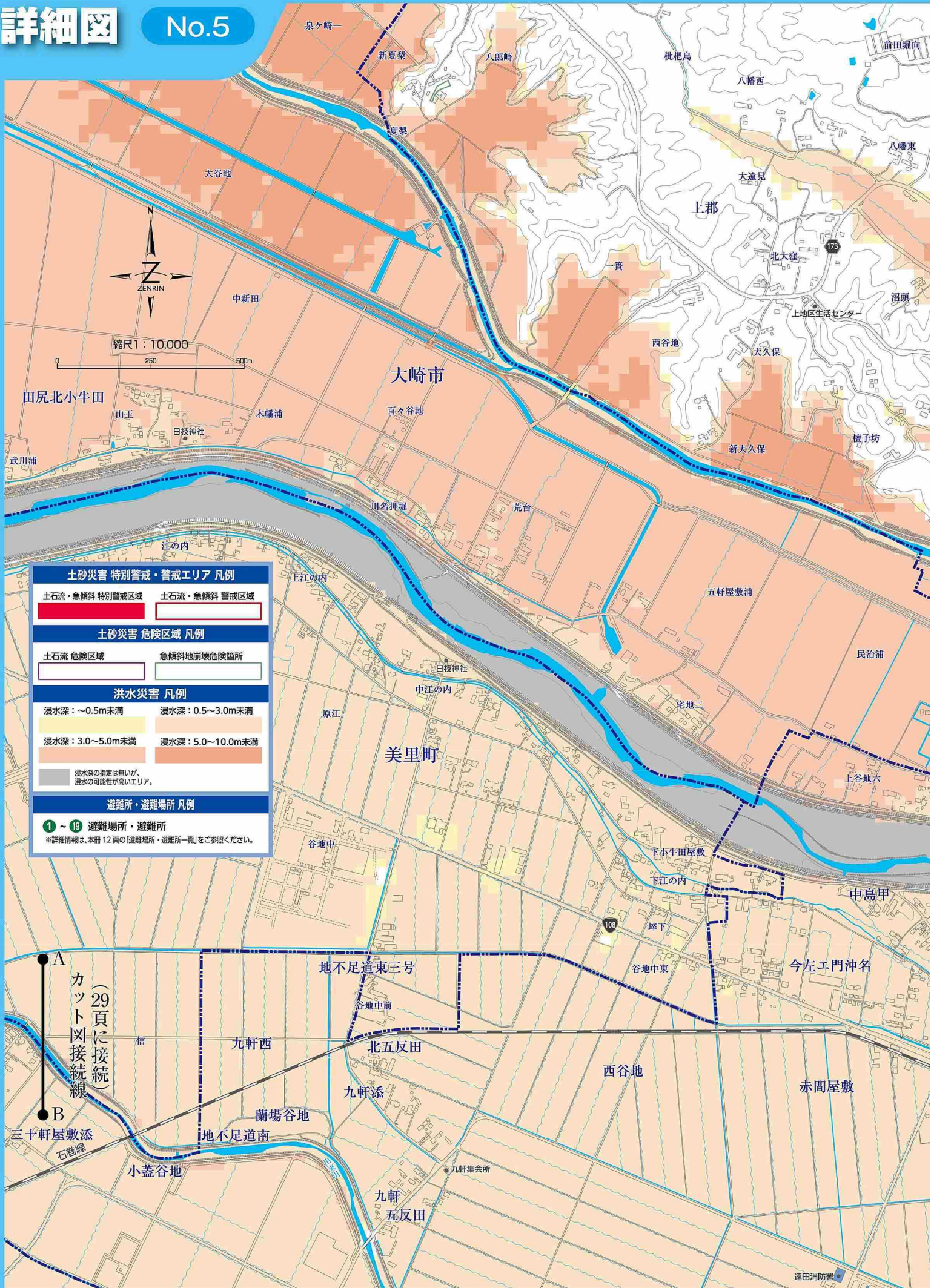
避難所・避難場所 凡例

①～⑱ 避難場所・避難所

※詳細情報は、本冊 12 頁の「避難場所・避難所一覧」をご参照ください。

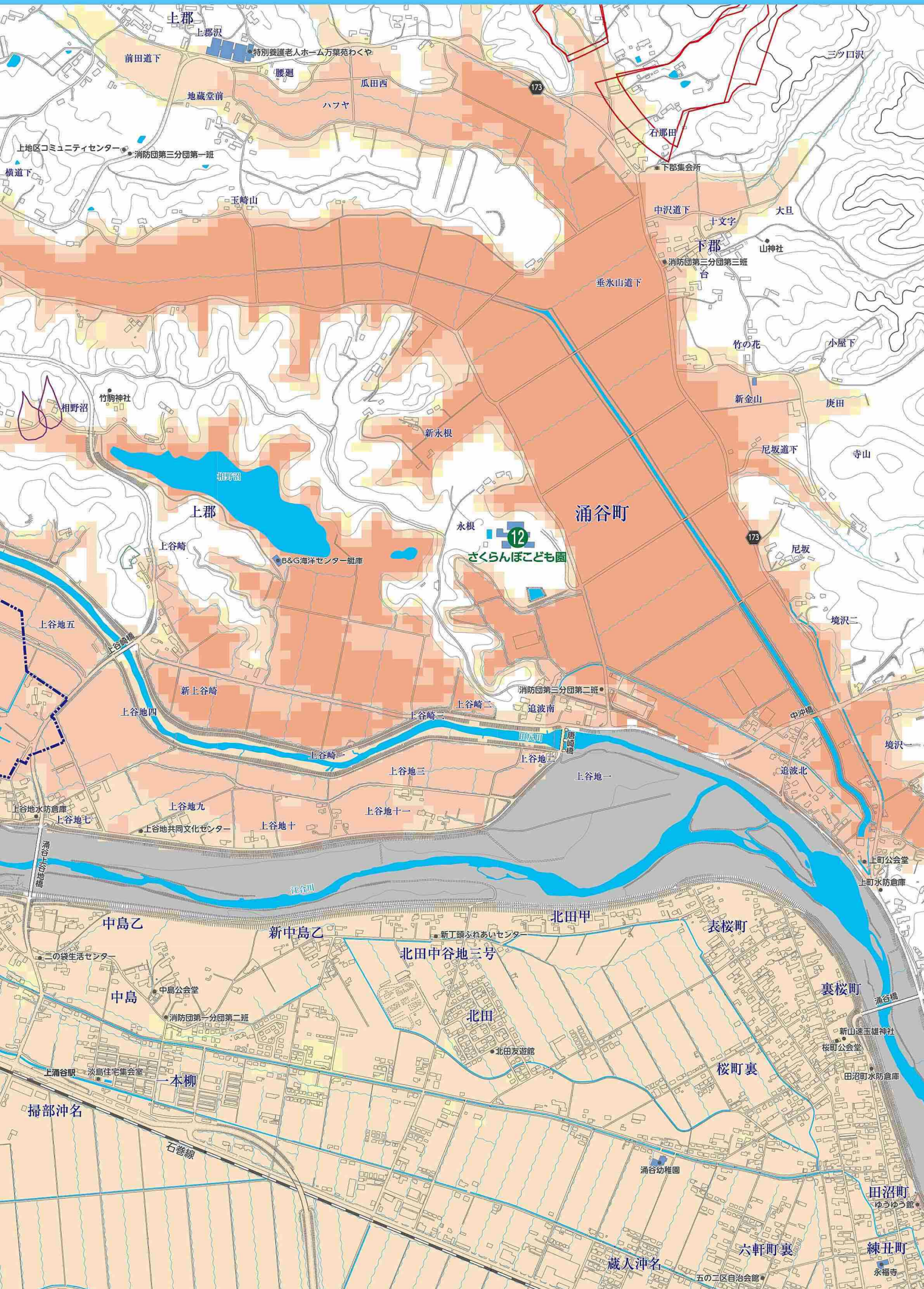


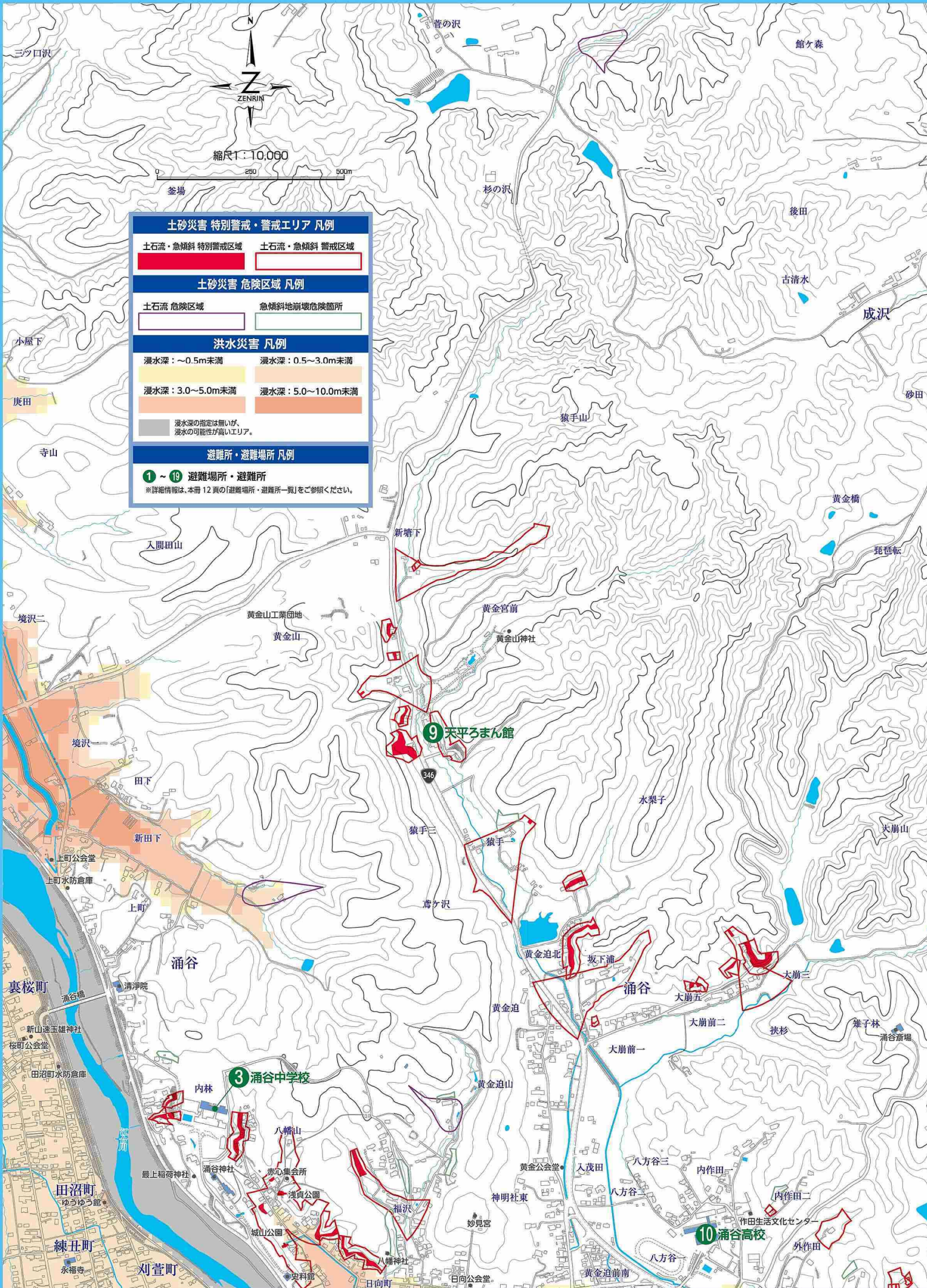




土砂災害 特別警戒・警戒エリア 凡例	
土石流・急傾斜 特別警戒区域	土石流・急傾斜 警戒区域
土砂災害 危険区域 凡例	
土石流 危険区域	急傾斜地崩壊危険箇所
洪水災害 凡例	
浸水深：～0.5m未満	浸水深：0.5～3.0m未満
浸水深：3.0～5.0m未満	浸水深：5.0～10.0m未満
浸水深の指定は無いが、浸水の可能性が高いエリア。	
避難所・避難場所 凡例	
①～⑱ 避難場所・避難所	
※詳細情報は、本冊 12 頁の「避難場所・避難所一覧」をご参照ください。	

A
B
カット図
(29頁に接続)
接続線





土砂災害 特別警戒・警戒エリア 凡例

土石流・急傾斜 特別警戒区域	土石流・急傾斜 警戒区域
----------------	--------------

土砂災害 危険区域 凡例

土石流 危険区域	急傾斜地崩壊危険箇所
----------	------------

洪水災害 凡例

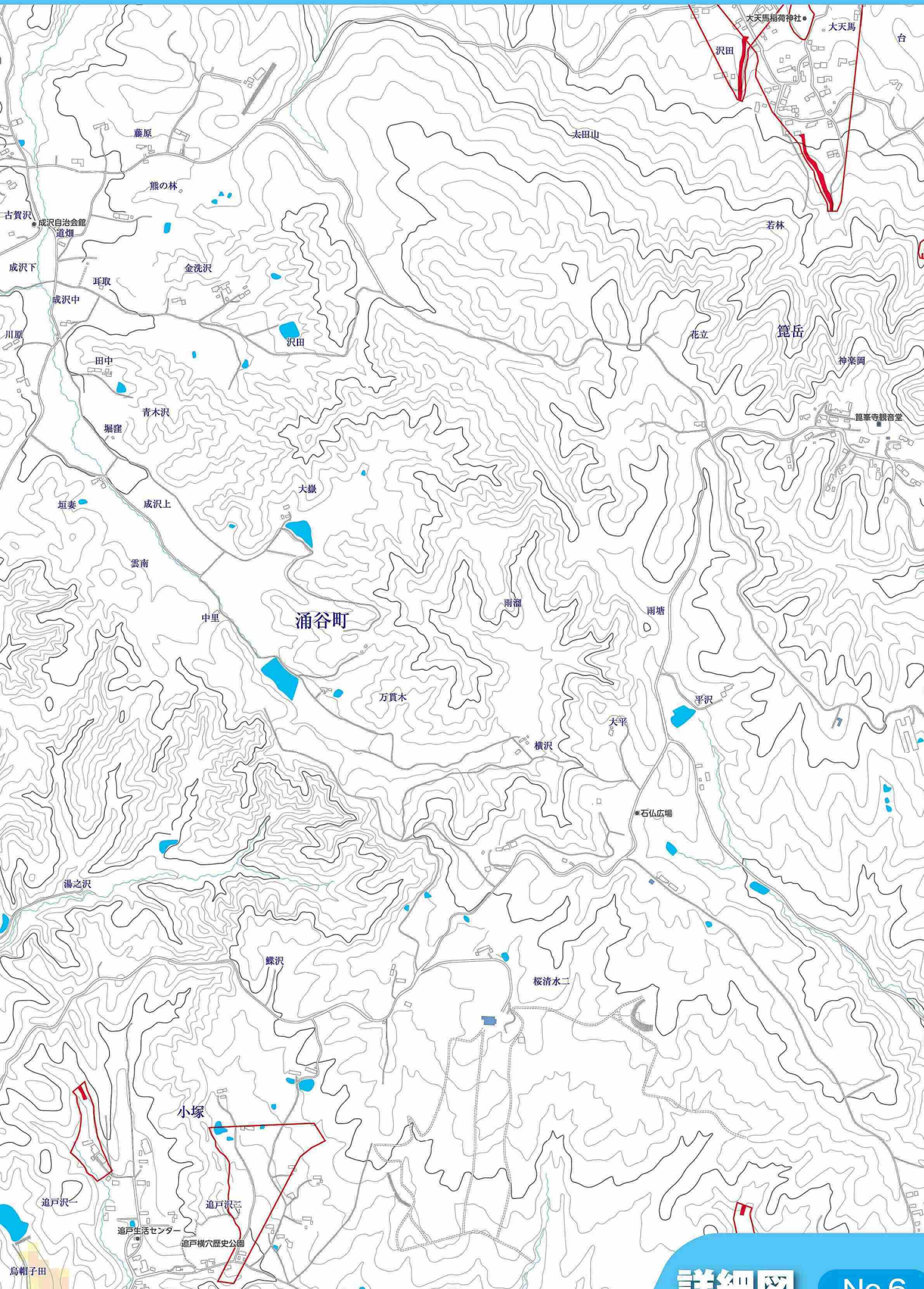
浸水深：～0.5m未満	浸水深：0.5～3.0m未満
浸水深：3.0～5.0m未満	浸水深：5.0～10.0m未満

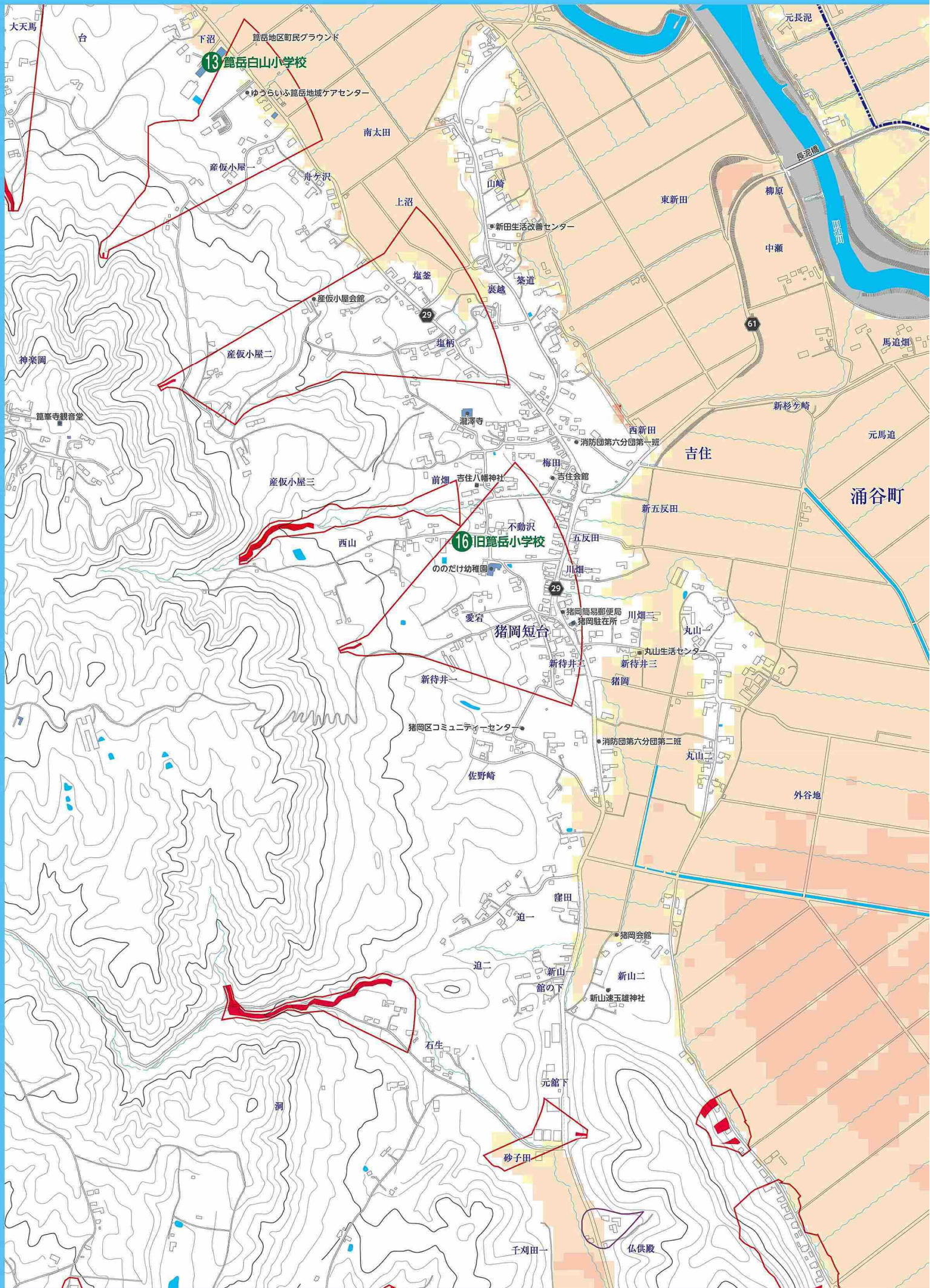
浸水深の指定は無いが、浸水の可能性が高いエリア。

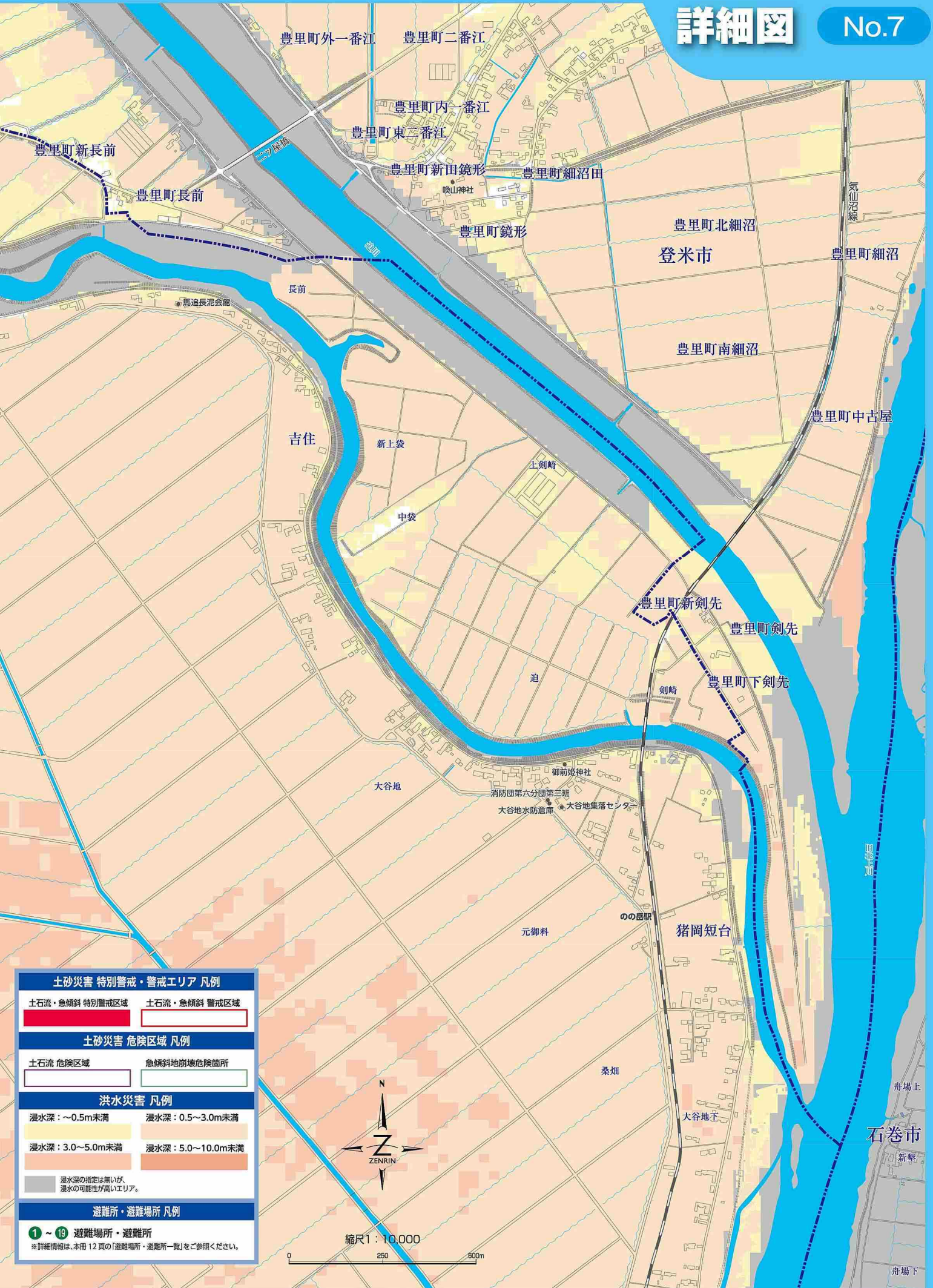
避難所・避難場所 凡例

①～⑱ 避難場所・避難所

※詳細情報は、本冊 12 頁の「避難場所・避難所一覧」をご参照ください。







土砂災害 特別警戒・警戒エリア 凡例

土石流・急傾斜 特別警戒区域	土石流・急傾斜 警戒区域
----------------	--------------

土砂災害 危険区域 凡例

土石流 危険区域	急傾斜地崩壊危険箇所
----------	------------

洪水災害 凡例

浸水深：～0.5m未満	浸水深：0.5～3.0m未満
浸水深：3.0～5.0m未満	浸水深：5.0～10.0m未満

浸水深の指定は無いが、浸水の可能性が高いエリア。

避難所・避難場所 凡例

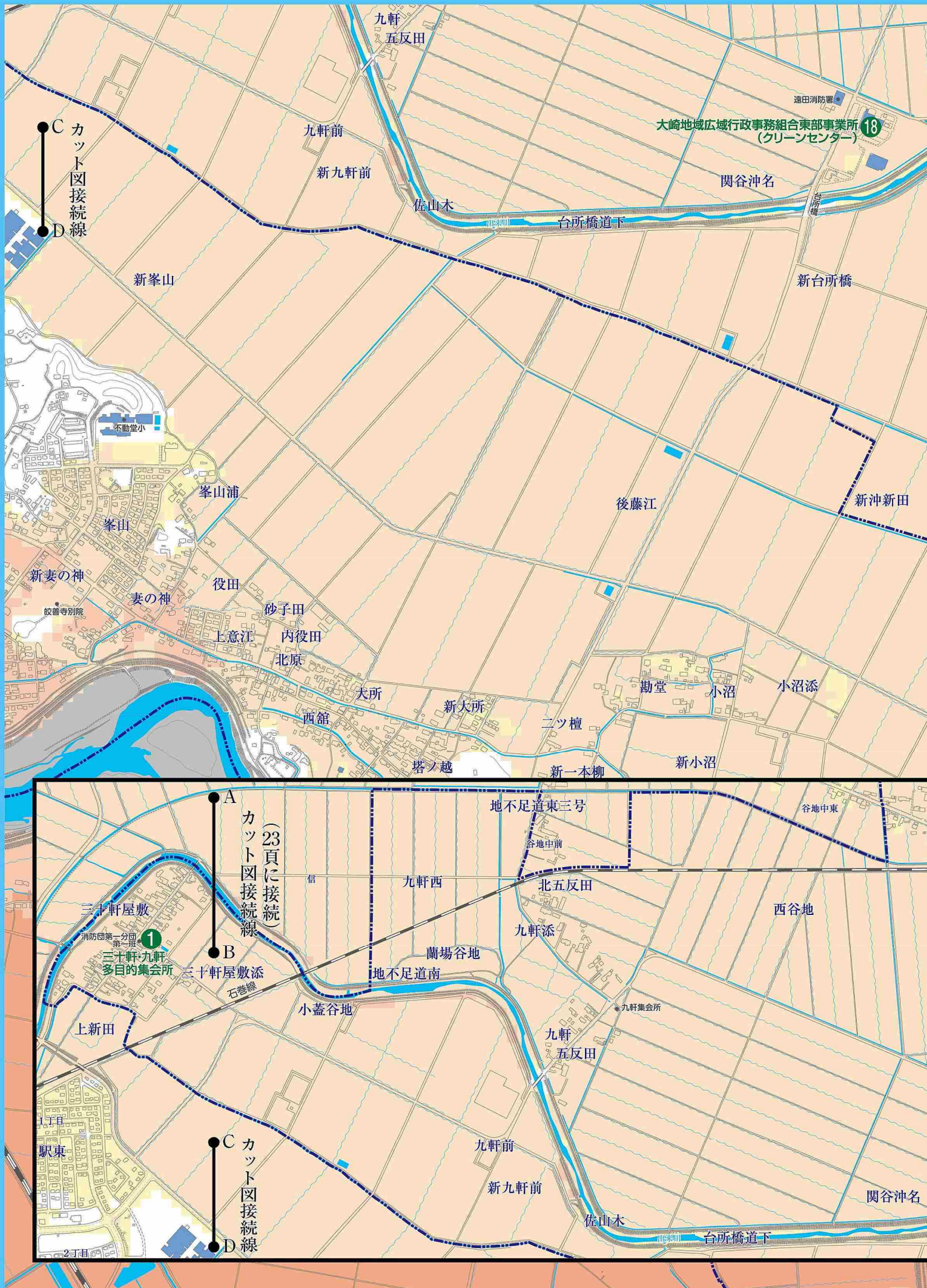
①～⑱ 避難場所・避難所

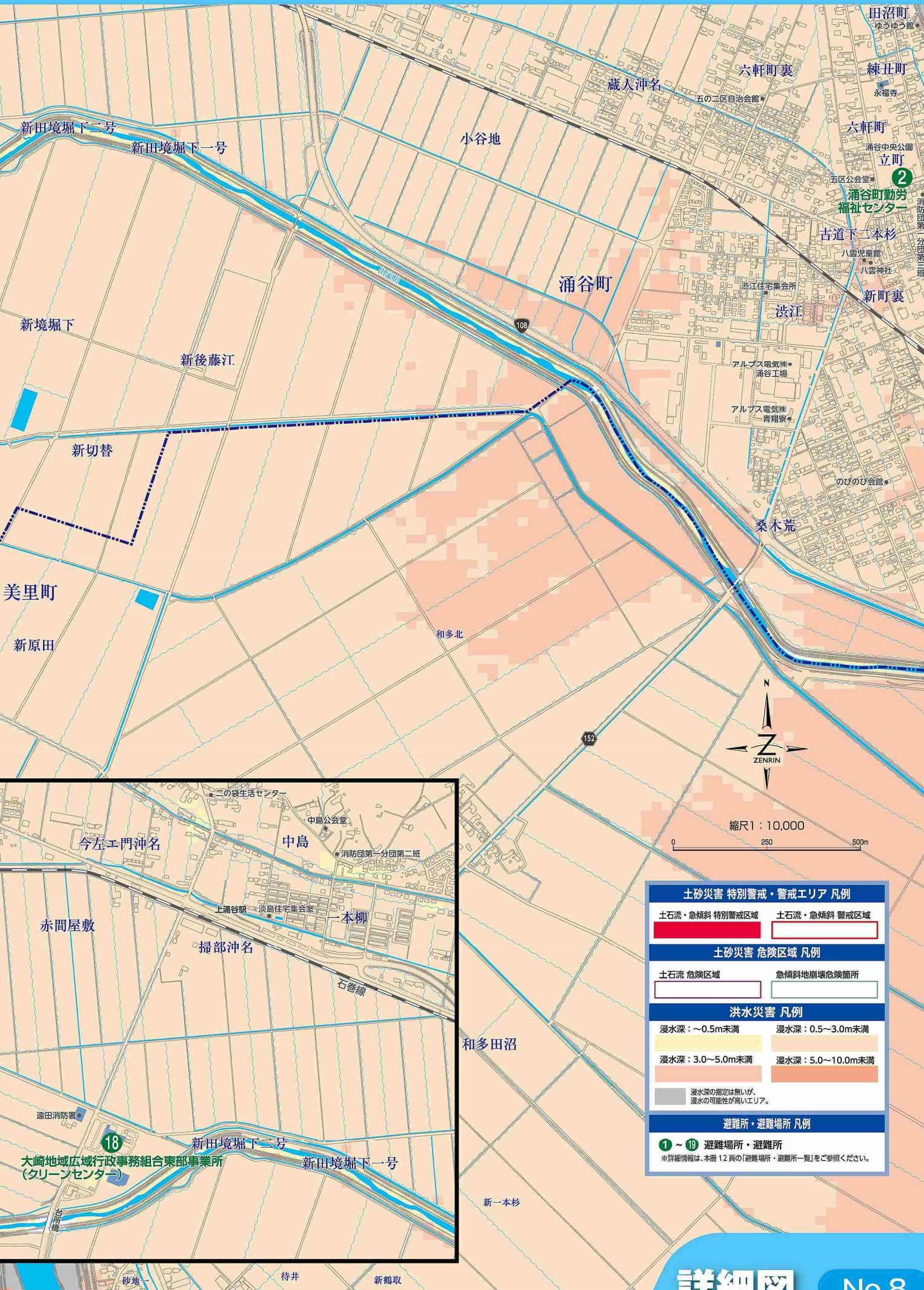
※詳細情報は、本冊12頁の「避難場所・避難所一覧」をご参照ください。



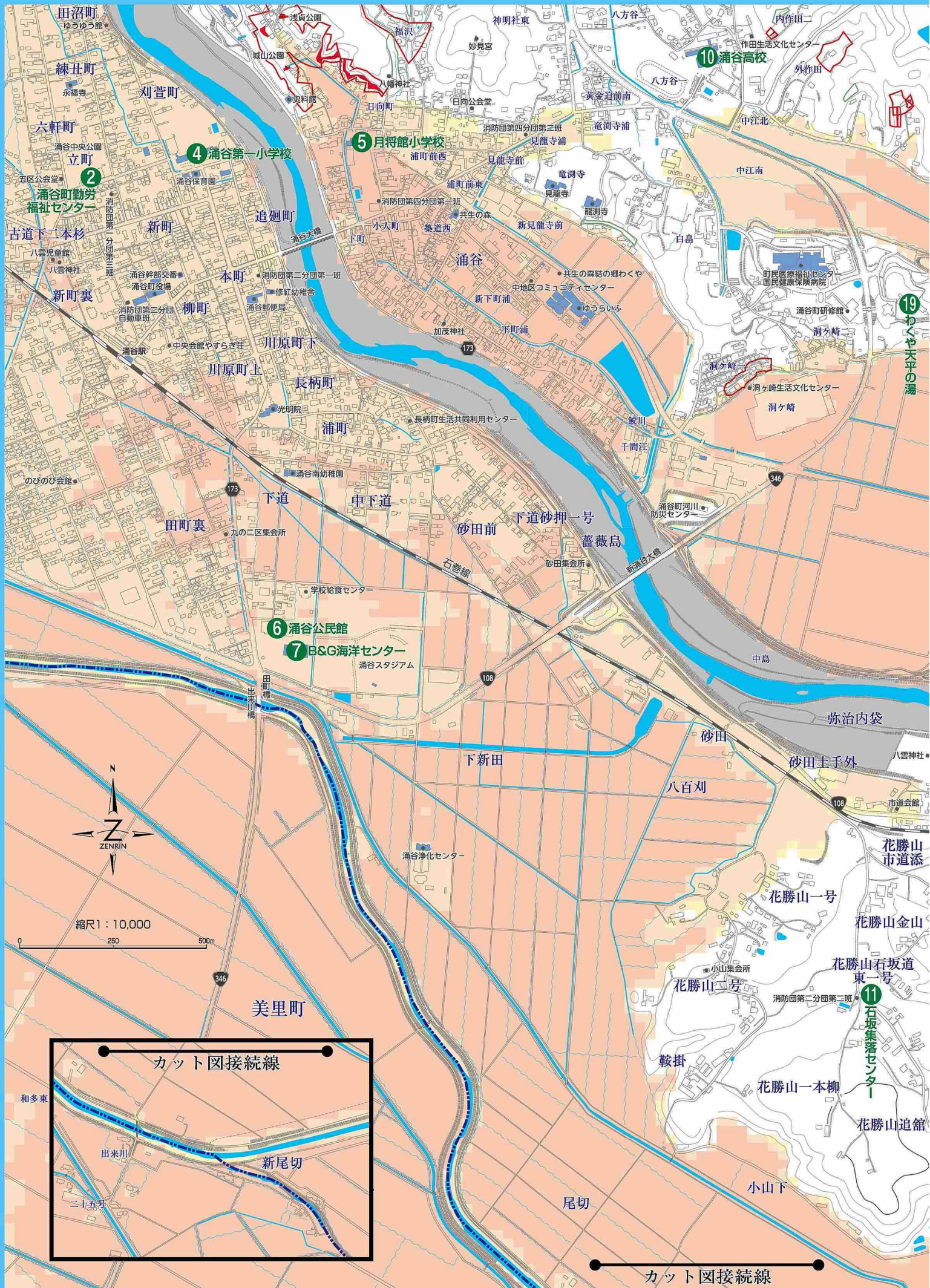
縮尺1：10,000

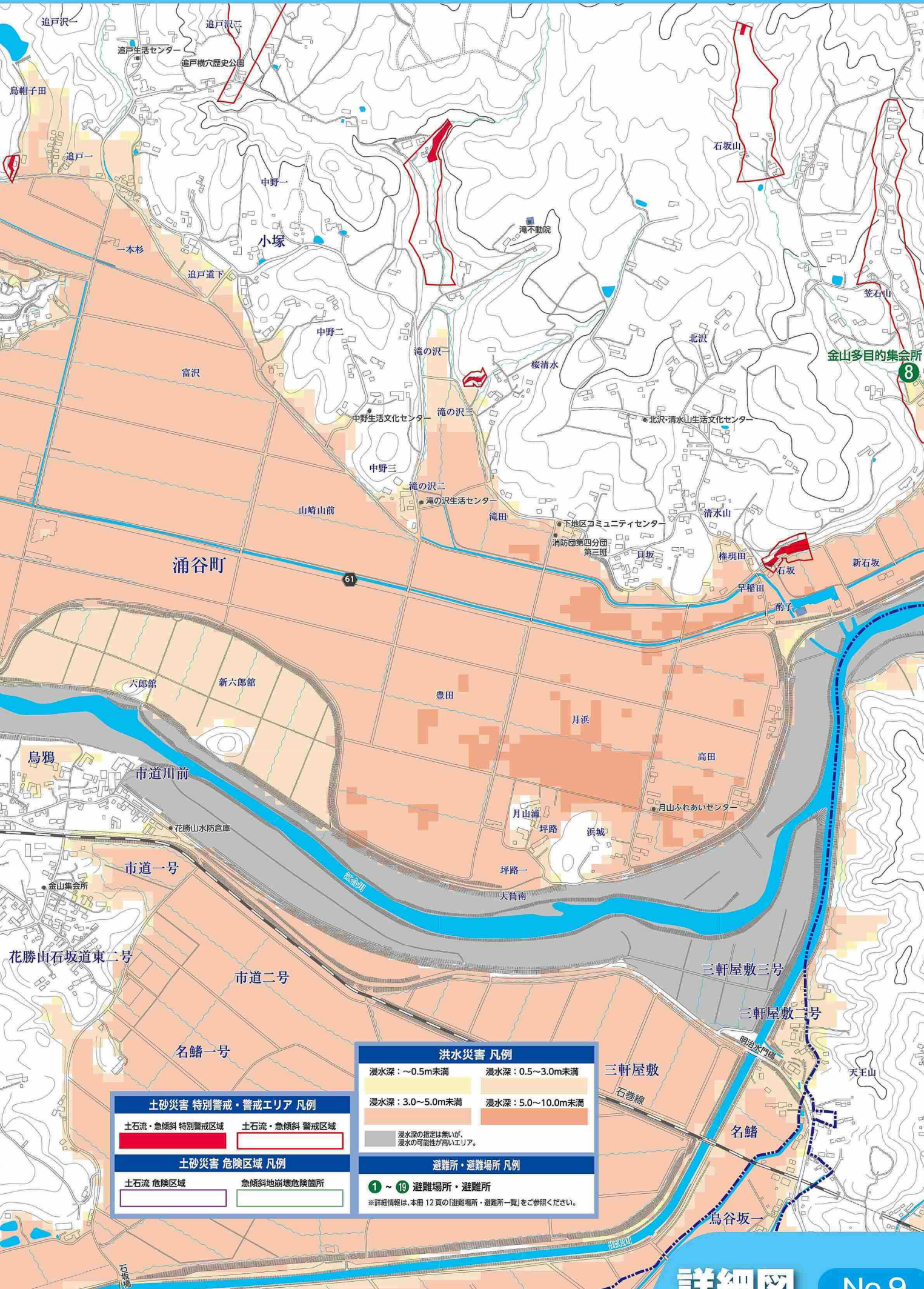
0 250 500m





土砂災害 特別警戒・警戒エリア 凡例	
土石流・急傾斜 特別警戒区域	土石流・急傾斜 警戒区域
土砂災害 危険区域 凡例	
土石流 危険区域	急傾斜地崩壊危険箇所
洪水災害 凡例	
浸水深：～0.5m未満	浸水深：0.5～3.0m未満
浸水深：3.0～5.0m未満	浸水深：5.0～10.0m未満
浸水深の指定は無いが、 浸水の可能性が高いエリア。	
避難所・避難場所 凡例	
①～⑱ 避難場所・避難所	
※詳細情報は、本冊 12 頁の「避難場所・避難所一覧」をご参照ください。	





土砂災害 特別警戒・警戒エリア 凡例

土石流・急傾斜 特別警戒区域 土石流・急傾斜 警戒区域

土砂災害 危険区域 凡例

土石流 危険区域 急傾斜地崩壊危険箇所

洪水災害 凡例

浸水深：～0.5m未満 浸水深：0.5～3.0m未満

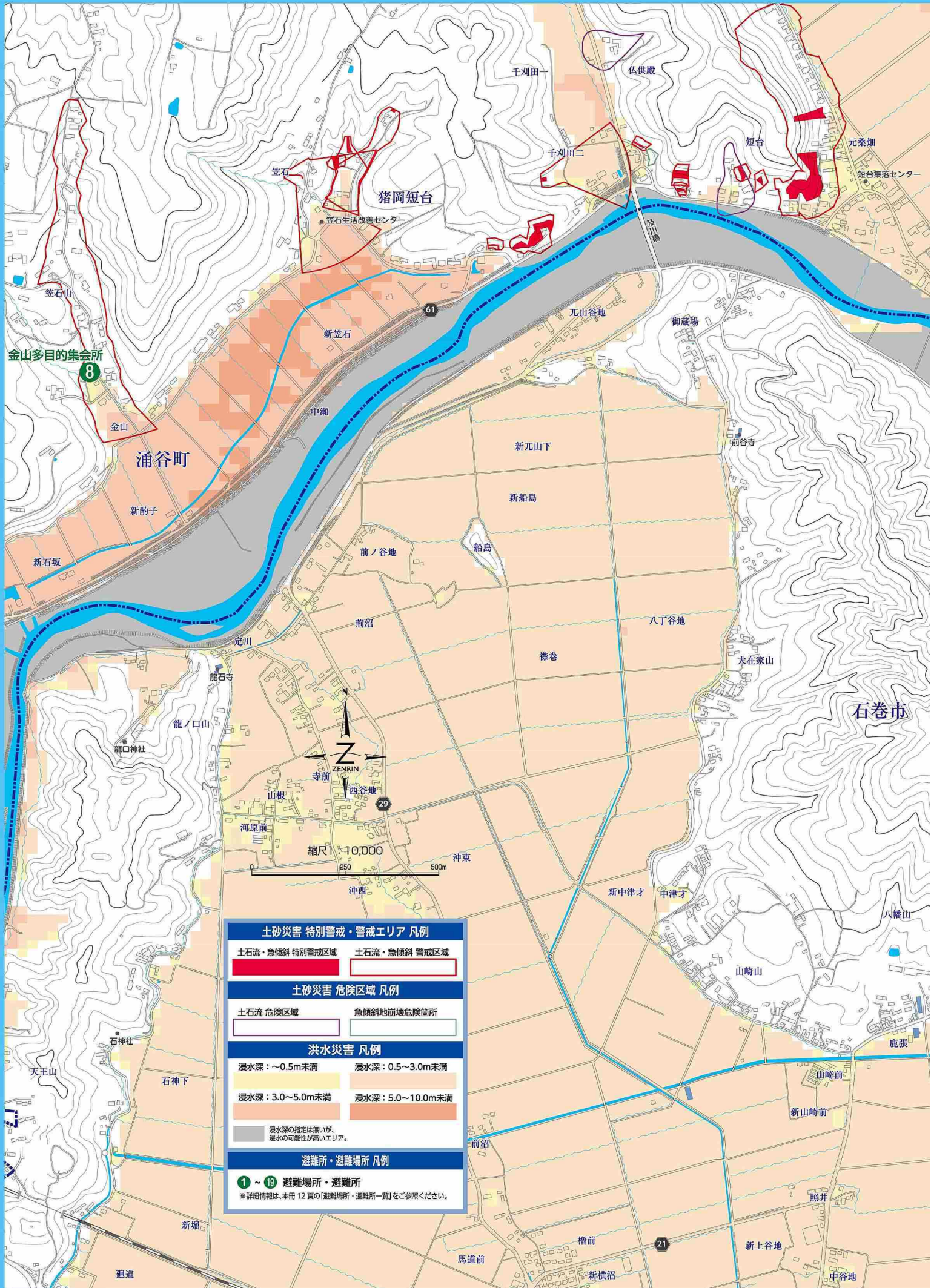
浸水深：3.0～5.0m未満 浸水深：5.0～10.0m未満

浸水深の指定は無いが、
浸水の可能性が高いエリア。

避難所・避難場所 凡例

①～⑱ 避難場所・避難所

※詳細情報は、本冊 12頁の「避難場所・避難所一覧」をご参照ください。



土砂災害 特別警戒・警戒エリア 凡例

土石流・急傾斜 特別警戒区域	土石流・急傾斜 警戒区域
----------------	--------------

土砂災害 危険区域 凡例

土石流 危険区域	急傾斜地崩壊危険箇所
----------	------------

洪水災害 凡例

浸水深：～0.5m未満	浸水深：0.5～3.0m未満
浸水深：3.0～5.0m未満	浸水深：5.0～10.0m未満

浸水深の指定は無いが、
浸水の可能性が高いエリア。

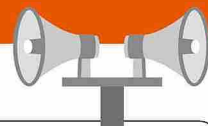
避難所・避難場所 凡例

①～⑯ 避難場所・避難所
※詳細情報は、本冊 12 頁の「避難場所・避難所一覧」をご参照ください。

災害情報の入手方法

防災行政無線放送とテレホンサービス

災害発生が予想される場合や火災情報は、屋外スピーカーにより、避難情報などを一斉に放送します。聞き取れないときは、窓を開けて聞か、屋外へ出て聞き取る行動をしてください。



【主な広報内容】

- 全国瞬時警報システム（Jアラート）で緊急地震速報、特別警報等の広報
- 台風などの気象情報を伝える注意喚起の広報
- 「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」の避難行動を呼びかける広報
- 火災場所等の災害情報に係る広報
- 災害対応の訓練、又は訓練に関する広報

屋外スピーカーからの内容が聞き取れなかった場合は、放送の内容を電話で確認できるサービスを提供しています。



防災行政無線放送テレホンサービス **0800-800-9949** (無料)

おおさきエフエムによる防災情報の提供

浦谷町では、おおさきエフエム放送と連携し、スマートフォンアプリによる災害情報を発信しています。

【ダウンロードの方法】

iPhone : App Storeより専用アプリをダウンロード (無料)
Android : Google Playより専用アプリをダウンロード (無料)

いずれも聴取エリアの制限はなく、町内・町外を問わず利用できます。



iOS版QRコード



Android版QRコード



情報の受信の仕方

1 アプリをダウンロードし、画面右下の「設定」ボタンをタップします。



2 「受信する情報の選択」をタップし、「浦谷町防災情報」と「浦谷町からのお知らせ」をオンにします。

ホームページからの防災情報の入手

国や県、仙台管区气象台では、ホームページなどでいろいろな防災情報を掲載しています。情報を収集して、事前準備などに活かしましょう。

●水位・雨量の情報

- 国土交通省「川の防災情報」
<http://www.river.go.jp/>
<http://www.river.go.jp/s/> (スマートフォン版)
- 北上川下流防災情報ポータルサイト
http://www2.thr.mlit.go.jp/Bumon/j74201/kasen_portal/
- 宮城県河川流域情報システム
<http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/miyagi/servlet/Gamen1Servlet>

●気象情報

- 仙台管区气象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>

●土砂災害情報

- 宮城県砂防総合情報システム
<http://www.doshasaigai.pref.miyagi.jp/midski/>



国土交通省「川の防災情報」



北上川下流防災情報ポータルサイト



宮城県河川流域情報システム



仙台管区气象台ホームページ



宮城県砂防総合情報システム

エリアメール・緊急速報メール

NTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話をお持ちの方が、浦谷町にいるときに当町などが発信する限定的な情報を強制的にメール通知します。

【限定情報の内容】

- 全国瞬時警報システム（Jアラート）の一部や「避難準備・高齢者等避難開始」等の避難行動を呼びかける広報のみ限定



テレビ・ラジオ

テレビ・ラジオ・ケーブルテレビなどの報道機関に対し、町から情報提供いたします。また、他に災害に関するいろんな情報を発信していますので、それらを活かしましょう。NHKデータ放送での操作は、6ページを参照してください。